

自然とヒト

目次

発刊によせて

目次・凡例

じのーんヌシマクトゥバ

宜野湾市の動・植物方言

はじめに	11
1 動物の方言名	14
(1)哺乳類	14
(2)鳥類	17
(3)爬虫類	27
(4)両生類	36
(5)昆虫類	38
(6)クモ類・多足類	50
(7)衛生昆虫	52
(8)魚類	52
(9)甲殻類・貝類など	54
(10)海産生物類	57
2 植物の方言名	59
(1)コメ・ムギ類	60
(2)イモ類	60
(3)野菜類	62
(4)マメ類	63
(5)タケ類	64
(6)ミカン類・果樹	65
(7)野生植物	65
総括	71

宜野湾並松

宜野湾並松の変遷と利用

はじめに	77
1 並松の植付け	77
2 中頭郡道の道路整備	79
3 並松の天然記念物指定	81
4 並松の保存と道路整備問題	84

5 ムラ人と並松	88
並松の様子88／並松にまつわる伝承89／人びとの生活と並松89／ 交通路としての並松街道91／並松街道の改修工事92	
6 沖繩戦による並松伐採	93
7 戦後の並松	95

沖繩県立農事試験場と樹木園

沖繩県立農事試験場普天間試験地

はじめに	105
1 中頭高等小学校・普天間尋常小学校	106
2 中頭郡各間切組合立農事試験場	106
3 沖繩県立農林学校	107
農林学校の設立107／中頭郡各間切組合立農学校の設立と様子107／ 佐喜真慎仁について108／中頭郡各間切組合立農学校の移転109	
4 模範農場	109
5 沖繩県立農事試験場の沿革	109
試験場の設置109／小湾喜長について111	
6 沖繩県立農事試験場普天間試験地	111
沖繩100号111／比謝川1号113／普天間試験地の設備113	
7 普天間試験地の思い出―聞き取り調査の記録	118
新垣盛吉118／小湾喜順122／大屋盛正125／山内昌元127／大川信英131／宮城武雄134	
普天間試験地とそれ以前の敷地変遷表	138

普天間高等学校・樹木園の変遷

はじめに	143
1 校舎改築時期と樹木園や重要樹木	144
2 記念誌や紀要にみる樹木園の植物	148
(1)紀要『台風眼2号』(1975) から	148
(2)『創立35周年記念誌』(1983) から	148
(3)紀要『台風眼5号』(1989) から	148
(4)『創立50周年記念誌』(1997) から	148
(5)2002(平成14)年8月の調査から	149
3 重要で特筆できる樹種の移動や消失、生育出現の記録	149
(1)1982(昭和57)年以前より生育していた樹種の移動・消失	149
フウ149／ピヨウタコノキ(アカタコノキ)149／シッソノキ150／ ソリザヤノキ150／ナンバンアカアズキ151	
(2)1982(昭和57)年以降に生育出現した樹種	151
シノブノキ151	
4 おわりに	151

普天間高等学校の樹木園

はじめに	157
1 調査経過と方法	158
2 樹木園の主な植物	163
パンノキ163/キワタノキ163/ナンバンサイカチ164/ビルマネム164/ソリザヤノキ165/ フウ166/シッソノキ166/ビヨウタコノキ(アカタコノキ)167/チシャノキ167/ コクテンギ168/インドゴムノキ168/ワシントンヤシ169/シノブノキ169/ ムラサキソシンカ170/リュウキュウコクタン170/オオフトモモ171/アオギリ171/ クロツグ172	
普天間高校内の樹木および農事試験場跡の樹木園の樹木目録	173

索引

『宜野湾市史』第9巻資料編8自然(2000)索引	177
追録編『自然とヒト』索引	227

御協力いただいた方がた・協力機関

『宜野湾市史』自然編専門委員・市史編集事務局

編集後記

凡例

1. 本書は『宜野湾市史』第9巻資料編8自然(2000)の追録編「自然とヒト」とする。
2. 本書では、自然と人びととのつながりに視点をおき、そのなかで動植物の方言・宜野湾並松・沖縄県立農事試験場と、試験場跡地である普天間高等学校に名残を留める樹木についてまとめた。また、2000年発行『宜野湾市史』第9巻資料編8自然の索引も収録した。